

---

**メンチカツがうますぎるから、今夜は泣かない。**

夕焼け

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

メンチカツがうますぎるから、今夜は泣かない。

### 【Nコード】

N83620

### 【作者名】

夕焼け

### 【あらすじ】

別にほんと、よくある話。

メンチカツを買ってきた。

自分へのご褒美だ。

とはいっても無論半額処分品だけど。

お金無いし。

久々に食べる肉がうまい。

ほんとにうまい。

半年くらい前から音信不通だった彼女から今日さっきメールが来た。

「ほんとにもっと早く言うべきだったのだろうけど、自分の事にいっぱいばいで、気持ちの整理とかつけるのに時間がかかった。ごめんなさい。終わりにしよう」とって。

もちろん、半年音信不通な時点でこうなる事は分かりきってたし、ぶっちゃければ音信不通になるより前から、こうなる気がしてた。

丁度去年の今頃だ。

彼女と初めて新宿のホテルに行った。

無駄に小奇麗で、泡風呂とかついてるところ。

がんばったけど、駄目だった。

ホテルを出て、僕を気遣った彼女がたこ焼きを奢ってくれた。

情けなさど申し訳なさで味なんて分からなかったけど、彼女の気遣いを無駄にしたくなかったし、これ以上女々しいところ見せれない

と思ったから、ちゃらい感じの笑顔浮かべて、おどけて見せて、ひたすらたこ焼き頬張った。

クリスマスの朝、目が覚めて最初に聞いたのは、自分のそれと別の寝息だった。

ぶっちゃけイビキだった。

鼻をつまんでみたり、口をあけさせたりしてみたけど、やっぱりイビキは止まらなかった。

酷く寒い朝だったから、布団の中で触れた人肌の暖かさが妙に心地よかった。

僕らは彼女のお母さん公認の恋人で、だから彼女が帰る時はいつも多摩センターの駅まで彼女のお母さんが迎えに来てた。

彼女のお母さんがいる駅に向かう途中、いつも彼女と手を繋いで、繋いだ手を僕の上着のポケットにそのまま入れてた。

今まで付き合ってた子の中で、一番僕の中性的な部分に理解のある子だったと思う。

理解はあったけど、彼女がホントは何を望んでいたか、分からないほど僕も馬鹿じゃない。

だって、彼女も普通の女の子なんだ。

普通の事を、普通に望む。

僕は結局それに答える事が出来なかった。

それでも彼女が僕に不満をぶつけたりした事はただの一度だって無かった。

ただの一度も、だ。

「それがあなただから、いいのよ」って。

あんなに優しい子は、そう滅多にはいないと思う。

ハッピーエンドが無い事なんて最初から分かったた。

分かってたし、気持ちの整理も半年かけてきっちりしたはずなんだ。僕も僕で。

そのはずなのに、いざ網膜の裏にエンドロールが流れはじめると、どうしようもなく溢れそうになる。

メールを返信した。

ありがとうだけを言えた。

ありがとう以外をちゃんと飲み込めた。

だから自分にご褒美。

5個入りで115円のメンチカツ。

今夜は3個食う。

明日は残りの2個。

どんなにおいしくて、幸せな気持ちにさせてくれるそれだって、いつか無くなるんだ。

失った事を嘆くより、失って泣きたくなくなるくらい幸せだった瞬間を、ほんのひと時でも与えてくれた事に感謝しようと思う。

だから、最後はありがとうだけでいい。

メンチカツ、ウマすなあ。。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8362o/>

---

メンチカツがうますぎるから、今夜は泣かない。

2010年11月11日01時42分発行